

令和6年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度	令和5年度			
事業番号	10	事業名	多文化共生社会事業 (大事業名) 国際化事業		担当課	たつせがある課			
					予算区分(款-項-目-中事業)	2-1-10-4 多文化共生社会事業			
					決算書ページ	71	72	一般	
総合計画	基本目標	1	「やってみたい」でつながるまち		事業開始の背景	近年の在住外国人数の増加により多文化共生の必要性が高まり、令和2年度に長久手市多文化共生推進プラン、令和5年度に第2次長久手市多文化共生推進プランを策定し、多文化共生を推進する施策に取り組んでいる。			
	政策	2	「やってみたい」が実現できる仕組みづくり						
	施策	(3)	誰もが活躍できる地域づくり						
						市民・民間事業者との連携協働の可能性	両者と協働可		
その他	開始年度								
	終了予定年度		<input type="checkbox"/>	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	未定			
	根拠法令等								
	関連計画		第2次長久手市多文化共生推進プラン						
I 基本情報	アウトプット（詳細はⅡへ）				アウトカム（詳細はⅢへ）				
	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)		
	<b>【対象】</b> <input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 事業者 <input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> その他 対象の数：      約60,000 <b>【事業内容】</b> 外国人市民のニーズや国際情勢、本市における多文化共生の実態を把握し、外国人市民が地域の一員として活躍・生活することができるよう、多文化共生の地域づくりや国際交流意識の醸成に取り組みます。		<b>【アクションプラン指標】</b> 多文化共生促進事業数  <b>【その他の指標】</b>		国際交流や多文化共生について、関心や知識を深める  (成果指標名)  国際交流協会事業参加者総数		大 事 業 共 通  国際交流や多文化共生への理解が生まれ、日本人・外国人双方にとって住みよいまちになる		

II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値 (2018年) 目標値 (2023年) ※AP指標のみ	区分	R5(2023) 年度	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度
		1	【アクションプラン事業】 多文化共生促進事業数	回	基準値 — 目標値 7回	見込 実績	7 5	7	7	7	8
2			基準値 目標値	見込 実績							
3			基準値 目標値	見込 実績							
4			基準値 目標値	見込 実績							
エピソード	事業開始からの経緯										
	<p>長久手市多文化共生推進プランに基づく取組みにより、日本語教室を中心とした外国人の日本語学習環境が整備された。また、国際交流協会や関係各課と連携することで、外国人市民の実情を把握し情報共有することで、課題に応じた取組みを行う基盤が整い始めている。外国人市民数が増加傾向であることから、今後は、第2次長久手市多文化共生推進プランに基づき、子育て支援や情報提供の整備等、より幅広い施策に取組む必要がある。</p>										
	R5(2023)年度の実績、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由										
<p>第2次長久手市多文化共生推進プラン策定委員会（有識者会議、3回開催、延べ25人出席）、長久手市多文化共生推進連絡会議（庁内会議、1回、8人出席）、児童生徒日本語教育支援事業</p>											

Ⅲ 事業の成果・課題分析 (アウトカムの詳細)	成果指標 (CHECK)	成果指標名 (中間成果をはかるもの)		単位	成果指標の推移と目標									
		国際交流協会事業参加者総数		人	R1 年度	▶	R4 年度	▶	【現状】 R5 年度	▶	R7 年度	▶	R9 年度	
					4,706	10,040	10,767	11,100	11,500					
		成果達成状況						指標目標値の根拠						
	A	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている						令和5年度の総数を基準に、1年間で200人ずつ増加すると想定する						
	評価の理由、分析													
	ベルギーワートルローフレンドフェスや防災サバイバルフェスの参加者数が増加していることから、市民の国際交流や多文化共生への関心や知識を広げられている。また、日本語教室等に携わる会員ボランティア数が増加しており、市内で活躍する人の育成が進んでいる。													
	加える変化 (ACTION)	今後の方向性 (3年~5年先)			今後の方向性の理由									
		A	A. 現状維持 B. 拡充 C. 縮小 D. 廃止			国際交流協会への支援を継続すると共に多文化共生社会事業を推進することで、第2次長久手市多文化共生推進プランの事業を展開する。								
		<b>改善ポイント</b> ※今後の方向性がAの場合は記入不要 (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)												
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容									見直し可能年度		
1			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止											
2			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止											
3		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止												

IV 費用	令和7年度予算の方向性 (PLAN)	R7年度の費用 (R6年度比)		(単位: 千円)	R6(2024)年度	R5(2023)年度		R4(2022)年度			
		A	A. 現状維持 B. 拡充	事業費	予算	予算	決算	予算	決算		
			C. 縮小 D. 廃止		88	2,945	2,803	1,296	253		
		理由			特定財源	合計額	88	2,945	2,803	1,296	253
						(内 国費)					
						(内 県費)					
						(内 諸収入)					
						(内 その他)		1,100	430		
		積算額			一般財源	88	1,845	2,373	1,296	253	
		未定		R6年度予算の内訳 <細々節名、 予算額、 (R5年度予算額) >							
		多文化共生推進協議会報償費 73千円 (312千円)									
		消耗品費 10千円 (10千円)									
		食糧費 5千円 (5千円)									
		3年間の推移									